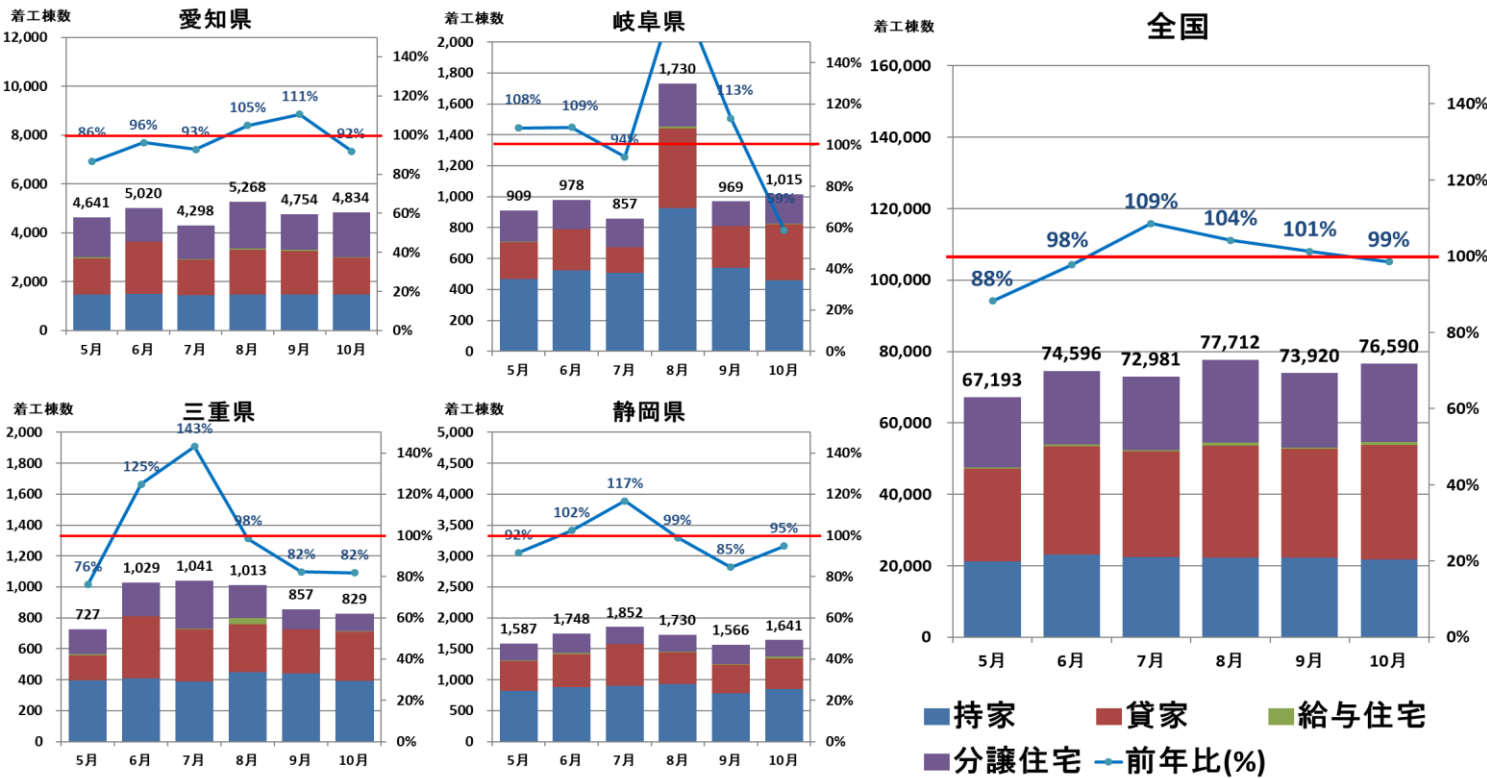


東海4県の着工推移

出典：着工データ 国土交通省



「#はじめようグリーンインフラ」キャンペーンを開始

国土交通省は、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム(事務局：国土交通省総合政策局環境政策課)にて、会員の皆様とともに、グリーンインフラを一層推進していくため、ロゴマークを決定し、本ロゴマークを掲げて取組を実施していただく方を募集する「#はじめようグリーンインフラ」キャンペーンを開始すると発表しました。

グリーンインフラとは、自然環境が有する多様な機能をインフラ整備等に活用することで、様々な地域課題の解決を図る取組です。

グリーンインフラの取組を、社会資本整備や土地利用等を進める際の検討プロセスにビルドインすることが重要です。そのために多様な主体の参画と、幅広い連携のもとでの取組が必須と考えられます。

グリーンインフラ推進ロゴマーク



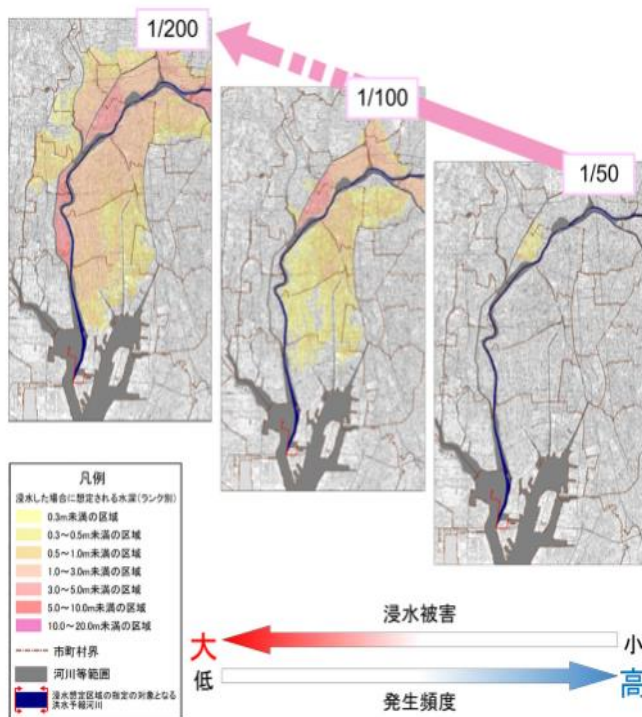
国交省、河川氾濫による浸水の頻度を見える化

～水害リスクマップ(浸水頻度図)のポータルサイトを開設～

国土交通省では、これまで、住民の避難等を目的として、洪水ハザードマップのもととなる洪水浸水想定区域図(想定最大規模の洪水を対象)を作成・公表してきました。これに加え、今般、防災まちづくりや企業立地の参考となることを目的として、「**水害リスクマップ(浸水頻度図)**」を作成し、ポータルサイトを開設しました。水害リスクマップ(浸水頻度図)は、多段階の浸水想定図(発生頻度は小さいものの浸水範囲が広い大規模な洪水や、浸水範囲は狭いものの発生頻度が高い小規模な洪水など、様々な規模の洪水の浸水想定図)を重ね合わせたものであり、今回開設するポータルサイトでは、全国の国管理河川の水害リスクマップと多段階の浸水想定図をまとめて確認することができます。今後、水害リスクを踏まえた、まちづくりや企業の立地選択等での更なる活用促進に向け、流域治水協議会等を通じて情報共有を図り、議論を深めていくとしています。

<多段階の浸水想定図>

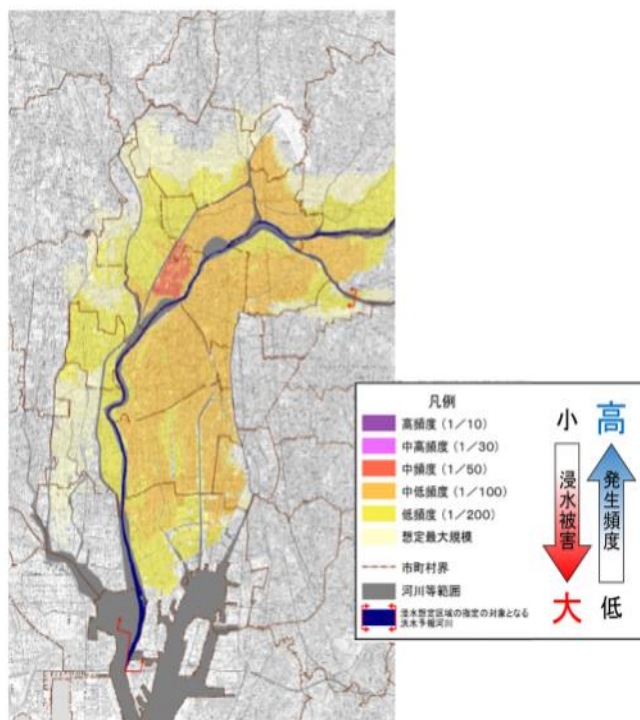
- 公表済みの想定最大規模に加え、より頻度の高い、複数の年超過確率毎の浸水想定図を作成。
- さらに、治水対策の整備段階ごとに作成。



重ね合わせ

<水害リスクマップ>

- 想定最大規模～頻度の高い複数の年超過確率毎の多段階の浸水想定図を重ね合わせた図面。
- 各年超過確率毎の浸水域を示した図面。



【詳細は】国土交通省ホームページをご確認ください。

https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/risk_map.html